

岩倉市の新しい道を示したい

岩倉市観光ボランティアガイド「ごあんない〜わ、この名前を耳にしたことがある人はそれほど多くないだろう。この団体は、岩倉市とNPO法人いわくら観光振興会が手を取り合い、今年の4月1日よりスタートを切った。市内有志のメンバーで構成さ

れているのだが、その中でも注目したのは、いわくら観光振興会の職員として働きながら、「ごあんない〜わのガイド」として観光ボランティアメンバーも兼任している木村さや香さんだ。

ト、メディアへのプレスリリースなど広報関係だ。また、コロナ前までは岩倉市PR大使「いわくら」と二緒に各地へ赴くなど、積極的の岩倉市のPR活動に精を出している。そんな彼女が何故ガイドとして活動することになったのか、それは「ごあんない〜わの前身でもあるいわくら塾が解散したことが大いに関係している。岩倉市の観光と言えは五条川の桜

巻頭特集 岩倉市の「観光」を支えるため新たに誕生

岩倉市観光ボランティアガイド

ごあんない〜わ

有志により構成される観光ボランティアガイドの、メンバー達が目指す新しい観光のカタチとは？岩倉市について熱い思いを寄せるガイドメンバーを代表して、木村さや香さんに胸の内を聞いた。

まつりが有名で、コロナ以前には毎年10日間でのべ30万人以上が訪れる一大イベントである。まつり期間中、岩倉駅の東西地下連絡道にてガイドをする人たちの姿を見たことがある人もいるのではないだろうか。そこそが岩倉市の観光案内を支えてきた、いわくら塾のスタッフ達である。しかし、様々な事情からいわくら塾は解散することになる。いわくら塾

がなくなることを想像もしていなかった木村さんは、当時はかなり動揺した。そして、観光振興という仕事に携わっているため、観光ボランティアが無くなるということ自体に疑問を持った。

ごあんない〜わの立ち上げ

では、今後の観光案内をどうするのかと、岩倉市といわくら観光振興

会で幾度も話し合いを重ねた。そうして行き着いた答えが、岩倉市観光ボランティアガイド「ごあんない〜わ」を新たに立ち上げることであった。さらに驚くべきは、観光振興会職員である木村さんが、「ごあんない〜わのメンバー」としてガイドに携わる決意をしたことである。観光ボランティアをスタートさせるにあたり、当初は職員として事務局の仕事に携わる予定

だったのだが、自分も岩倉市に住んでいるのだから観光案内ができるのでは、と一念発起。その背景は、自分がガイドとしてメンバーの一員となることで、事務局には感じられないガイドからの意見や考えを共有することができると考えたからだ。

唯一無二のオリジナル観光ツアーを楽しむ

「ごあんない〜わの魅力な所は、既存の観光ツアーももちろん用意されているが、客によってオリジナルのツアーを作れる点である。何故そんな柔軟な対応ができるのか、それは

「ごあんない〜わに登録しているメンバーが、それぞれ得意とする案内ジャンルが異なる点にある。通常よく見る観光ツアーは全行程が用意されているコースを巡るものだが、「ごあんない〜わ」ではまず案内して欲しい物・場所などをヒアリングし、さらに10人でガイド側から新たな観光の提案をしてくれるのだ。客からの要望を満たしたスポットへ行きながら、途中で案内できる他の「観光」も合わせてツアーを組み、岩倉の新しい一面を紹介してくれるのが斬新である。

「お客様はもちろん大切ですが、ガイドさんが案内したいことを尊重して、ガイドさんも主役であるべき、というモットーを掲げています。ガイ

ドさんからツアーの提案を受けることもあって、お客様の要望を崩さず、ガイドさんが発信したいツアーを組み合わせて提案することもあります。ご丁承りいただけただけならお客様はもちろん、ガイドする側も得意な事を案内できて楽しいですよ。趣味の押し売りではなく、岩倉の良い所と上手に組み合わせ案内することを心がけています。旅の案内をするサポート的な立場ではなく、ガイドする人も主役だと感じられる観光を目指しているのです。

現在登録されているガイドメンバーは60代が中心、ある程度の時間が無いとガイドとして登録できないのでは、と思われがちだが、実際は

年齢も稼働時間も特に制限はないため、気軽に問い合わせ欲しい、と木村さん。

岩倉観光

木村さんおすすめの

アデリア商品、昭和ガラス

石塚硝子株式会社の食器ブランド「アデリア」。大ブームの「アデリアレトロ」は、かつて昭和の家庭で使われていたアデリアのガラスウェアを、現代でも安心して使えるようリメイクした。花や動物など、かわいらしい柄をあしらったプリントが特徴。



※写真は「アデリアレトロ」ではなく、実際に1970年代頃販売されていた商品。

JA愛知北産直センター

産直センターで新鮮な地場野菜を購入できる。色鮮やかで珍しい野菜も豊富。



有限会社井上政のトマト

水耕栽培で育てられ、ゼリー部分が少なくみずみずしいトマト。



◎事務局では新たな観光の発見や客とガイドのマッチングに勤む @い〜わくんのアテンションとして「鯉のぼり恋子」という名前でも活動



ガイドメンバー 木村さや香さん

「平日は無理だけど土日なら大丈夫、という方でも問題ありません。歴史やお城に詳しくないといけない、なんて事はありません！例えば主婦の方や学生さんがイチオシする美味しいお店、きれいな場所、珍しい物など幅広く受け付けています。お客様とガイドを事務局がマッチングするので安心して任せてください。SNSで眺めるだけでも楽しいですが、写真の中だけではなく、実際に同じものを見て話すことが出来る楽しさを、たくさんガイドさんに感じて欲しいです。私たちが見落とされがちな岩倉市の良い所をたくさん共有して、お客様にも届けましょう！」

観光案内の利用に際しても市外からの依頼じゃないと、という固定概念を持ちそうだが、市内の人にこそ今まで知らなかった岩倉市に気付くきっかけにしてほしい。ごあんない〜わならではの岩倉観光を、気軽に楽しんでみよう。



9月に行われたツアーにて隠れたスポットを豆知識とともに紹介

ごあんない〜わ

岩倉市観光ボランティアガイド

観光案内利用料金 1回500円(2名以上にて利用)

問い合わせ 0587-81-3368

<https://guide.iwakura-kanko.com/>